

# 平成27年度第1回南相馬市事務事業事前評価結果

1	事務事業名	南相馬市交流拠点施設整備事業補助金	担当課	復興企画部企画課
---	-------	-------------------	-----	----------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか ・市民 ・復興公営住宅等で生活する他市町村の避難者
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか ・市民と避難住民が交流する場を提供し、交流する機会を増やす。
	結果	どのような結果をもたらすのか ・市民と避難住民が交流することにより、相互理解が深まり新たな地域コミュニティが形成される。 ・本市を当面の居住地として選択する避難住民が増える。

手 段	1 事業種目 (1) 交流拠点施設新築等整備 (2) 交流拠点施設修繕等整備 2 事業主体 公益事業を行う法人又は団体 3 補助対象経費 交流拠点施設の新築等に要する経費(本工事費の全部及び附帯工事費の一部) 4 補助率 定額(10/10以内)	事業費(千円)	平成27年度	100,000
		平成28年度	0	
		平成29年度	0	
		平成30年度	0	
		平成31年度	0	
		合計	100,000	

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか ・市民と他市町村からの避難者の交流を促進するため、市が積極的に誘導を図るべきものである。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか ・福島県「生活拠点における交流促進事業補助金交付要綱」において、市が実施するよう定められている。
	有効性	どのような効果が期待されるか ・市には5箇所に計927戸の復興公営住宅が整備されることになっており、成果指標の達成が期待できる。また、交流施設が整備されることにより交流の拠点ができることから、新たなコミュニティの形成が期待できる。
	その他	優先性等 ・現在、2,199人(平成27年7月現在)が他市町村から本市に避難しており、優先的に対応する必要がある。
総合評価		必要性・有効性・優先性を認める。

委員会評価	総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。
	付帯意見	なし。

対応方針	議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 (平成27年9月議会に予算計上)
------	--